

2025年3月26日
いろは蔵パーク株式会社
鹿島建設株式会社
出光興産株式会社
前田製管株式会社
酒井鈴木工業株式会社
一般社団法人カーボンリサイクルファンド

山形県酒田市 商業施設「いろは蔵パーク」に カーボンリサイクル製品・技術を導入

いろは蔵パーク株式会社（代表取締役：高橋 剛）、鹿島建設株式会社（代表取締役社長：天野 裕正、以下「鹿島」）、出光興産株式会社（代表取締役社長：木藤 俊一、以下「出光興産」）、前田製管株式会社（代表取締役社長：前田 直之、以下「前田製管」）、酒井鈴木工業株式会社（代表取締役社長：鈴木 啓一郎、以下「酒井鈴木工業」）、一般社団法人カーボンリサイクルファンド（会長：満岡 次郎）の6者は、このたび新たに山形県酒田市に開業する商業施設「いろは蔵パーク」において、カーボンリサイクルの社会実装を目的として、下記製品・技術を導入しました。

■いろは蔵パーク 概要

「いろは蔵パーク」は、江戸～明治時代にかけては米蔵「新井田蔵」（通称「いろは蔵」）として酒田市の交易を支え、1917～2012年にかけては山形県立酒田商業高等学校（前身の附設商業補修学校含む）として90年以上にわたり多くの生徒で賑わっていた、歴史ある地に開業する商業施設です。地域の歴史と再生のシンボルとして、生活利便性の向上、地域交流の拠点形成、自然と人が出会い交流する空間の創出を目指し、2025年3月27日（木）に一部店舗がオープンいたします。



図 いろは蔵パーク完成イメージ



図 いろは蔵パーク 導入状況

■ 導入製品と技術概要

・「カルカーボ®」を用いたアスファルト舗装施工

出光興産および酒井鈴木工業は、出光興産の製品「カルカーボ」を用いたアスファルトの敷設を実施しました。「カルカーボ」は、ボイラー排ガス中の CO₂ を産業廃棄物（コンクリートスラッジ）中のカルシウムと反応させて固定化した合成炭酸カルシウム（炭酸塩）であり、土木建設材料や化学品等への活用が期待されます。



図 カルカーボ製品、いろは蔵パークへの導入状況

・「CO₂-SUICOM[®]」コンクリートブロックの設置

鹿島および前田製管は、鹿島の技術「CO₂-SUICOM」^{※1}を用いたコンクリートブロックの敷設を行いました。「CO₂-SUICOM」は、コンクリートの主原料となるセメントの一部を特殊な混和材「 γ -C₂S」（ガンマシーツーエス）等に置き換えることで、セメント製造時に排出されるCO₂を削減します。さらにコンクリートの製造段階で強制的にCO₂を吸収させる「炭酸化養生」^{※2}を行うことで、コンクリートが固まる過程で大量のCO₂を吸収・固定します。また、鹿島では、CO₂の吸収・固定量に応じて2種類のグレード「CO₂-SUICOM（P）」、「CO₂-SUICOM（E）」^{※3}を展開しており、今回はCO₂-SUICOM（E）を適用しました。

※1： 中国電力・デンカ・ランデスと鹿島による共同開発

※2： CO₂を封入した槽内でコンクリートを養生し、安定した環境でCO₂を吸収・固定させる方法

※3： カーボンネガティブ型の（P）PREMIUM、カーボン低減型の（E）ECONOMY

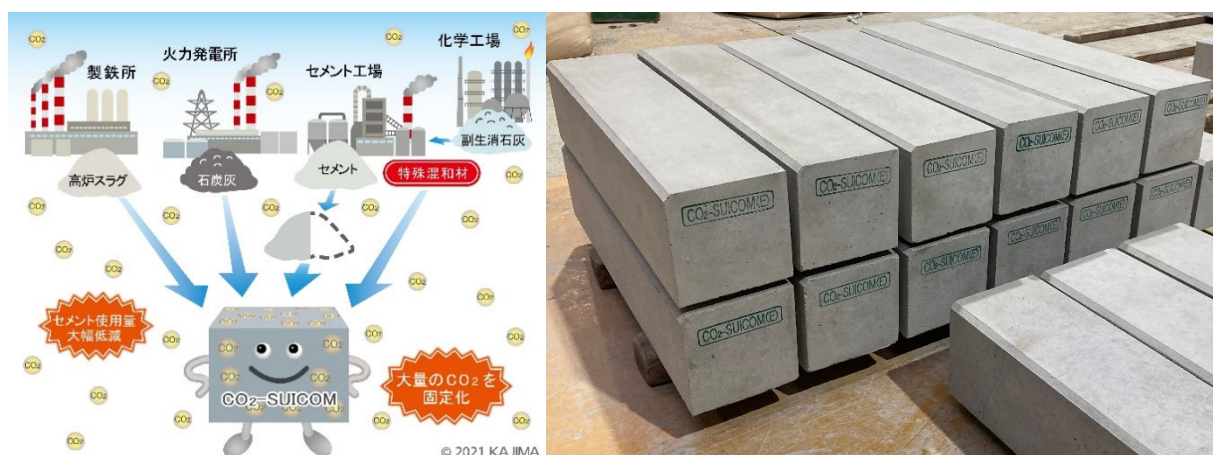


図 CO₂-SUICOM 画像、いろは蔵パークへの納入製品